

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年10月23日

上場会社名 養命酒製造株式会社
 コード番号 2540 URL <http://www.yomeishu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年10月30日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東名

(氏名) 塩澤 太朗
 (氏名) 田中 英雄

TEL 03-3462-8125

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	6,094	△8.8	1,119	△5.4	1,260	△5.2	752	△8.4
21年3月期第2四半期	6,681	—	1,183	—	1,329	—	821	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	23.80	—
21年3月期第2四半期	25.91	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	35,096	31,451	89.6	995.22
21年3月期	34,925	31,100	89.0	984.06

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 31,451百万円 21年3月期 31,100百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	18.00	18.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,100	△4.6	1,760	△25.2	2,000	△23.5	1,170	△32.3	37.02

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 33,000,000株 21年3月期 33,000,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 1,397,365株 21年3月期 1,395,823株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第2四半期 31,602,958株 21年3月期第2四半期 31,707,988株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】**1. 経営成績に関する定性的情報**

当第2四半期累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)におけるわが国経済は、昨年秋以降の世界的な金融危機を背景とした景気後退の影響を受ける中、一部に回復傾向が見られたものの、依然として雇用・所得環境は厳しさを増しており、個人消費は低迷し、先行き不透明なまま推移いたしました。

当社の関連業界におきましては、改正薬事法施行による店頭販売の一時的混乱は収束したものの、生活防衛意識の高まりによる生活者の節約志向が続いており、業種・業態を越えた企業間競争の激化や、流通業界における再編等、なお予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中で、当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」ことを経営理念とし、「少子高齢化社会に即した成長戦略の実現により企業価値を高める」ことを基本方針に、第2次中期経営計画(平成19年4月から平成23年3月まで)の主要戦略である「新たな成長事業の推進」の具現化に向けた各施策に積極的に取り組むとともに、「養命酒」事業の収益構造の維持に努めました。

「新たな成長事業の推進」の各施策につきましては、5月に長野県諏訪市における健康生活提案型複合施設の建設に着工し、平成22年4月の開設に向けた準備に取り組みました。

また、9月には、大正製薬株式会社との共同開発によるドリンク剤「リオン」の一部地域(福岡県、山口県、佐賀県)における先行販売を開始いたしました。ドリンク剤市場への新規参入により「薬用養命酒」へのニーズの補完をすることで、セルフメディケーション市場の裾野拡大への対応を目指してまいります。

酒系市場におきましては、消費者ニーズの多様化に対応した新規市場の開拓を目指し、薬味酒「養命酒」をより親しみやすい「ハーブの恵み」として全面リニューアルすることを検討した結果、平成22年3月の発売に向けた準備に取り組んでいくことといたしました。

国内の「養命酒」事業につきましては、テレビや新聞、ウェブ等を中心とした様々な媒体を効率的に活用し、「疲れ」や「胃腸虚弱」の改善に対する提案を行い、広告と連動した店頭における販売促進活動を引き続き展開いたしました。また、より効率的かつ効果的なマーケティング活動の展開に向け各施策の費用対効果等の再検証を行うとともに、今後の広告活動の見直しを行いました。トータルマーケティング活動の継続的展開により、東洋医学における「未病」という概念への理解は浸透し、市況も回復の兆しを見せ始めたものの、6月1日の改正薬事法施行前の対応準備のための店頭販売活動への影響等により、「養命酒」の国内売上高は5,739百万円(前年同期比8.8%減)となりました。

海外の「養命酒」事業につきましては、既存の東南アジア諸国を中心として各国の市場環境に即したマーケティング活動を展開するとともに、「養命酒」の理解と知名度の向上に向け、取扱店舗の拡大や店頭における販売促進活動の強化に努めたものの、「養命酒」の売上高は200百万円(前年同期比7.4%減)となりました。

ナチュラルミネラルウォーター「養命水」につきましては、引き続き取扱店の確保に努めました。また、インターネット通信販売サイト「養命酒本舗」につきましては、取扱商品の見直しや定期購入者の維持・確保に努めました。

以上の結果、主力商品「養命酒」の売上に不動産賃貸料及びその他の売上を合算いたしまして、その売上高は6,094百万円(前年同期比8.8%減)となりました。また、利益面につきましては、広告宣伝費等の経費節減に努め、営業利益は1,119百万円(前年同期比5.4%減)、経常利益は1,260百万円(前年同期比5.2%減)、四半期純利益は752百万円(前年同期比8.4%減)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末における総資産は、前期末に比べ171百万円増加し、35,096百万円となりました。

流動資産は、前期末に比べ357百万円減少し、11,541百万円となりました。これは主に有価証券が譲渡性預金の償還等により500百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前期末に比べ528百万円増加し、23,554百万円となりました。これは主に投資有価証券が1年内償還予定となる国債の流動資産への振替等により704百万円減少した一方で、設備投資等により有形固定資産が357百万円、投資その他の資産(その他)に含まれる長期預金が1,000百万円それぞれ増加したことによるものであります。

流動負債は、前期末に比べ325百万円減少し、2,266百万円となりました。これは主に未払法人税等が70百万円、その他に含まれる未払費用が126百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は、前期末に比べ145百万円増加し1,378百万円となりました。これは主に繰延税金負債が83百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前期末に比べ351百万円増加し31,451百万円となりました。これは主に利益剰余金が183百万円、その他有価証券評価差額金が169百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前期末に比べ1,119百万円減少し、4,340百万円となりました。

営業活動の結果増加した資金は、709百万円(前年同期比7.6%減)となりました。これは主に税引前四半期純利益1,233百万円、減価償却費366百万円、未払費用の減少額119百万円及び法人税等の支払額568百万円等によるものであります。

投資活動の結果減少した資金は、1,271百万円(前年同期比101.3%増)となりました。これは主に定期預金の預入による支出(預入と払戻の純額)600百万円、有形固定資産の取得による支出646百万円等によるものであります。

財務活動の結果減少した資金は、557百万円(前年同期比2.8%減)となりました。これは主に配当金の支払額556百万円等によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

通期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)の業績予想につきましては、平成21年10月15日に発表いたしました通り、売上高13,100百万円、営業利益1,760百万円、経常利益2,000百万円、当期純利益1,170百万円となる見込みであります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定す

る方法によっております。

③ 法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限
定する方法によっております。

- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,570,342	3,589,816
受取手形及び売掛金	2,827,776	2,856,104
有価証券	3,900,338	4,400,341
商品及び製品	308,331	343,894
仕掛品	187,061	162,224
原材料及び貯蔵品	334,805	282,242
その他	413,219	265,071
流動資産合計	11,541,875	11,899,696
固定資産		
有形固定資産	7,518,268	7,160,542
無形固定資産	169,130	204,291
投資その他の資産		
投資有価証券	11,186,644	11,890,763
その他	4,683,298	3,772,835
貸倒引当金	△2,899	△2,899
投資その他の資産合計	15,867,043	15,660,698
固定資産合計	23,554,441	23,025,532
資産合計	35,096,317	34,925,229
負債の部		
流動負債		
買掛金	221,728	253,115
未払法人税等	494,866	565,714
賞与引当金	247,953	260,156
その他	1,301,479	1,512,737
流動負債合計	2,266,028	2,591,723
固定負債		
繰延税金負債	367,056	283,057
役員退職慰労引当金	50,850	50,850
その他	960,873	899,301
固定負債合計	1,378,779	1,233,208
負債合計	3,644,808	3,824,931
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	676,680	676,680
利益剰余金	30,128,449	29,945,190
自己株式	△1,591,311	△1,589,918
株主資本合計	30,863,818	30,681,952
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	587,690	418,345
評価・換算差額等合計	587,690	418,345
純資産合計	31,451,509	31,100,297
負債純資産合計	35,096,317	34,925,229

(2)【四半期損益計算書】
 【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	6,681,204	6,094,647
売上原価	2,081,285	1,927,997
売上総利益	4,599,918	4,166,649
販売費及び一般管理費	3,416,871	3,047,557
営業利益	1,183,046	1,119,091
営業外収益		
受取利息	37,632	33,910
受取配当金	106,393	93,602
その他	17,049	27,118
営業外収益合計	161,074	154,631
営業外費用		
支払利息	13,045	13,071
その他	1,973	94
営業外費用合計	15,019	13,166
経常利益	1,329,102	1,260,556
特別利益		
固定資産売却益	213	—
特別利益合計	213	—
特別損失		
固定資産除却損	16,946	9,354
投資有価証券評価損	—	17,642
特別損失合計	16,946	26,996
税引前四半期純利益	1,312,369	1,233,560
法人税、住民税及び事業税	457,000	498,000
法人税等調整額	33,954	△16,573
法人税等合計	490,954	481,426
四半期純利益	821,415	752,134

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,312,369	1,233,560
減価償却費	368,714	366,977
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,402	△12,203
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△32,750	—
受取利息及び受取配当金	△144,025	△127,513
支払利息	13,045	13,071
有形固定資産売却損益(△は益)	△213	—
有形固定資産除却損	16,946	9,354
投資有価証券評価損益(△は益)	—	17,642
売上債権の増減額(△は増加)	△92,100	28,327
たな卸資産の増減額(△は増加)	842	△41,836
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,885	△31,387
未払費用の増減額(△は減少)	△23,028	△119,169
未払消費税等の増減額(△は減少)	62,485	△43,157
その他	△274,829	△123,948
小計	1,193,168	1,169,717
利息及び配当金の受取額	140,487	128,741
利息の支払額	△22,830	△20,549
法人税等の支払額	△543,027	△568,168
営業活動によるキャッシュ・フロー	767,797	709,739
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000,000	△1,100,000
定期預金の払戻による収入	200,000	500,000
有価証券の償還による収入	1,500,000	500,000
有形固定資産の取得による支出	△309,329	△646,559
有形固定資産の売却による収入	550	—
無形固定資産の取得による支出	△23,310	—
投資有価証券の取得による支出	△999,442	△524,655
投資活動によるキャッシュ・フロー	△631,532	△1,271,214
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,050,000	1,050,000
短期借入金の返済による支出	△1,050,000	△1,050,000
自己株式の取得による支出	△2,088	△1,392
配当金の支払額	△572,193	△556,606
財務活動によるキャッシュ・フロー	△574,282	△557,999
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△438,017	△1,119,474
現金及び現金同等物の期首残高	5,155,388	5,459,816
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,717,371	4,340,342

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

売上高明細表

(単位：千円)

内 訳	前第2四半期累計期間 自平成20年4月1日 至平成20年9月30日		当第2四半期累計期間 自平成21年4月1日 至平成21年9月30日		前事業年度 自平成20年4月1日 至平成21年3月31日	
	数 量	売上金額	数 量	売上金額	数 量	売上金額
養 命 酒	KL 4,357	6,507,084	KL 3,989	5,939,626	KL 9,012	13,408,542
(うち輸出分)		(216,263)		(200,242)		(548,477)
不動産賃貸料		81,732		75,087		160,027
そ の 他		92,387		79,932		166,414
合 計		6,681,204		6,094,647		13,734,984

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。